

「原子力機構の研究開発成果 2020-21」 正誤表

| 訂正箇所                    | 誤   | 正   |
|-------------------------|---|---|
| 34 ページ<br>左欄 16 行目      | そこで、発電用軽水炉用燃料に使用されるジルカロイ-4 製被覆管に作用する、周方向に対する軸方向の応力比（以下、応力比）を正確に制御可能な二軸荷重負荷試験装置を新たに開発しました（図 2-7）。            | そこで、東京農工大学桑原教授ご協力の下、同教授ら*が開発した軸方向の応力比（以下、応力比）を制御可能な二軸荷重負荷試験装置を基に新しい試験装置を製作しました（図 2-7）。  |
| 34 ページ<br>左欄 19 行目      | 被覆管のような細い管状試料に適用することは従来困難でしたが、新しい治具と制御プログラムの開発を経て、  | 装置製作に際しては、新しい治具の開発と制御プログラムの最適化を行い、被覆管のような細い管状試料に対して、  |
| 34 ページ<br>右欄<br>最終行後に追加 | —   | * Kuwabara, T. et al., Yield Locus and Work Hardening Behavior of a Thin-Walled Steel Tube Subjected to Combined Tension-Internal Pressure, Journal de Physique IV, vol.105, 2003, p.347-354. |
| 93 ページ<br>左欄 23 行目      | 計算モデルでは、原子力機構の粒子・重イオン輸送計算コード PHITS を用い、仮想的に設計した CB-KID のモデル構造（図 9-4(a)）内を飛行する中性子と発生する全ての核反応過程をシミュレーションしました。 | 計算モデルでは、粒子・重イオン輸送計算コード PHITS を用い、仮想的に設計した CB-KID のモデル構造（図 9-4(a)）内を飛行する中性子と発生する全ての核反応過程をシミュレーションしました。   |

本件に関するお問い合わせ先

34 ページ 日本原子力研究開発機構 安全研究・防災支援部門 安全研究センター

電話／029-282-5942 FAX／029-282-5408

E-mail／nsrc-info@jaea.go.jp

93 ページ 日本原子力研究開発機構 システム計算科学センター

電話／04-7135-2350 FAX／04-7135-2382

E-mail／ccse-web@jaea.go.jp